

平成30年度第1回弥富市国民健康保険事業の運営に関する協議会議事録

1. 日 時 平成30年5月10日(木) 午後2時00分～午後3時00分

2. 場 所 弥富市総合福祉センター 2階 研修室

3. 出席委員 八木輝美 (公益代表)
伊藤久幸 (公益代表)
福田朝子 (公益代表)
伊東信行 (公益代表)
山本直人 (医療代表)
岡島行一 (医療代表)
伊藤貢 (医療代表)
山田安夫 (医療代表)
渡邊重明 (被保険者代表)
山田勝 (被保険者代表)
飯田哲夫 (被保険者代表)

4. 欠席委員 山田友子 (被保険者代表)
安井和美 (被用者保険代表)

5. 事務局 服部市長、大木副市長 村瀬民生部長 服部保険年金課長
伊藤国保GL、木村特定健診GL

6. 市長あいさつ

7. 委員自己紹介 名簿順に事務局まで自己紹介

8. 協議事項(1) 会長の選任について
八木輝美委員 を会長に選任

9. 議事録署名者 伊藤久幸委員 渡邊重明委員

10. 協議事項(2) 弥富市国民健康保険税条例の一部改正について

議 長 それでは協議事項(2) 国民健康保険税条例の一部改正について事務局より説明をお願いします。

事務局 . 協議事項（２）国民健康保険税条例の一部改正について資料に基づき内容説明。

議長 事務局から説明がありましたが、何か、御意見、御質問は有りませんか。無いようでございますので、協議事項（２）国民健康保険税条例の一部改正について、承認させていただいてよろしいですか。よろしければ挙手をお願いします。

（一同挙手）

議長 はい、ありがとうございました。
それでは、承認とさせていただきます。

11. 報告事項

会長 それでは次に、報告事項（１）平成30年度特定健康診査・特定保健指導実施について、事務局より報告をお願いします。

事務局 報告事項（１）平成30年度特定健康診査・特定保健指導実施について資料に基づき内容説明。

議長 事務局から説明がありましたが、何か、御意見、御質問は有りませんか。無いようでございますので、報告事項（２）平成29年度国民健康保険特別会計決算見込みについて事務局より報告をお願いします。

事務局 報告事項（２）平成29年度国民健康保険特別会計決算見込みについて資料に基づき内容説明。

議長 事務局から説明がありましたが、何か、御意見、御質問は有りませんか。それでは、特にないようですので、報告事項（３）その他について事務局より報告をお願いします。

事務局 資料1と資料2及び弥富市第2期国民健康保険データヘルス計画（概要版）について説明。

議長 事務局から説明がありましたが、今の件また、全体に関してでも結構ですので何か御意見、御質問は有りませんか。無いようですので、医療に携わる先生方からお話を伺いたいと思いますので、順番にお願いします。

山本委員 特定健診を多くの方に受けていただいておりますが、プラスがん検診を受けていただくことで、早期発見・早期治療につながり、90何%の確率で治療することができます。また、先ほどの説明でもありましたが、「がん」が医療費に大変負担になっていて、特に高額な抗がん剤が増えてきて医療費が高額になっている。

ジェネリック医薬品に関しましては、海南病院でも80%以上を使用し、調剤薬局もジェネリック医薬品を推奨しています。また、いろいろな機会に情報発信させていただいておりますが、是非ともかかりつけ医をもっていただき、かかりつけ医の先生と相談して、何かありましたら連絡していただき、健診を受けていただきたい。基本的にはこうした健康づくりが大事ではないかと考えます。

岡島委員 整形外科医の立場からお話しますと、データヘルス計画（概要版）の1ページに「高額医療費の状況」がありますが、2番目に整形外科疾患が多くなっています。これは、インプラントによるもので、膝や腰の治療に非常に多く機械を使うので高くなっています。外国製品で日米の貿易不均衡の関係があるため、どうしても100万円以上する機械を輸入してまで使用しなければならないからです。

伊藤貢委員 医療費全体に占める歯科の割合は10%に満たないで、それほど大きな負担をかけていませんが、健康の観点からすると歯科検診が重要視されていて、それは医療費がものすごく抑制できるからです。愛知県の統計では80歳以上で20本以上歯のある人が約半数となっていて、歯の健康が保たれていて、歯が健康な人は医療費が少なくいます。残念ながら、特定健診については歯科検診の項目がなく、保健指導に一部項目があるのみですが、歯科検診は国も推奨していますし、特定健診ではないですが、単独の歯科検診がありますので、今後も受診拡大を推奨していきたいと考えています。

山田安夫委員 薬剤師の立場で言いますと、ジェネリック医薬品は国も推奨していますし、医療点数についても追加で取れますので推奨していますが、若い人は比較的良いのですが、高齢の方はジェネリック医薬品を勧めても「今までと同じ薬が良い。」と断られることが多いです。そこで、弥富市からも積極的に推奨していただきますようお願いいたします。そうすることで切り替える方が増加すると考えます。

事務局 他に何かご意見ございませんか。無いようですので市長より総括をお願いします。

市長

平成30年度から国保制度は市町村単位から県単位へ移行し、今のところ順調に進んでいると考えています。新たな制度は、今までの「医療給付費」に変わらして「事業費納付金」を払っていかねばなりません。平成30年度は国保税を改正して平均で3.8%増加させていただいています。国保の課題としては、被保険者が減少しているのに、医療費が増加しているということです。平成30年度は一般会計から1億円繰入させていただきました。国保税を値上げせずにもっと繰入して欲しいという意見がありますが、バランスを取りながら繰入額を決めさせていただいています。

ジェネリック医薬品につきましては、生活保護世帯が原則ジェネリック医薬品を使用することに改正になります。現在、生活保護世帯に2億円以上の医療費がかかっている状況となっています。

今後も「事業費納付金」の数値の状況に注意払いながら、委員の皆様にはご報告させていただきます。

伊藤久幸委員

商工会の事務局をやっておりますが、一般的な胃がん検診の場合、胃カメラ、バリウム、血液検査があります。血液検査には多くの検査項目がありますが、その信頼度はどのようなものですか。

山本委員

信頼度のお話をするのは難しい。次回説明させていただきたい。海南病院では最新機器を使用しておりますので、早期発見に努めています。血液検査よりも胃カメラを進めております。それぞれの制度の違いについては調べさせていただきたい。

飯田委員

毎年、特定健診を受けていますが、今年の実施状況はどうですか。申し込みは多いですか。

事務局

まだ、特定健診は始まっていないので状況です。不明ですが、今年5月2、3日に申し込みの海南病院の総合がん検診は大変好評で、既に定員に達しています。今後は6月1日から始まる医療機関実施の特定健診、6月17日から申し込みが始まるバスの集団検診があります。

今年の海南病院の総合がん検診の申し込みは、がん検診の受診券郵送の効果もありまして、朝早くから多くの方の申し込みがありました。特に初日は12時ごろには定員に達し、50名以上の方をお断りさせていただきました。また、受付に大変長い間お待たせしましたので、来年以降改善したいと考えています。

岡島委員

交通事故の第三者行為求償というものがあり、健康保険を使っていますが、損害保険会社は大変儲かっているのに、保険証を使わないようにすることはできないのか。

事務局

交通事故は本来、自動車保険で対応するものですが、保険証無しで受診する場合は、自由診療になり診療点数も1点10円から20円、30円と請求すること事も可能ですし、自動車保険も上限がありますので被保険者保護の観点から保険証を使用してもらっています。

議長

ありがとうございました。他に何かありませんでしょうか。
本日は、議事進行に御協力いただき、誠にありがとうございました。
これをもちまして国民健康保険事業の運営に関する協議会を終了とさせていただきます。

事務局

次回、運営協議会の日程でございますが、平成31年2月14日（木）の午後2時00分からを予定いたしておりますので、よろしく願いいたします。本日は誠にありがとうございました。

平成30年 5月 23日

議長 八木 揮美

議事録署名者 伊藤 久幸

議事録署名者 渡邊 重明